

本人の声を起点とした認知症地域支援体制づくりに向けて

認知症地域支援体制づくりの「方針の転換」が求められています。

認知症基本法 基本理念④

認知症の人の意向を十分に尊重しつつ、良質かつ適切な保健医療サービス及び福祉サービスが切れ目なく提供される。

本人の声を起点に暮らしやすい「まち」をつくろう
～今ある場や取組を活かしながら、地域支援体制づくりを～

【本人の声を聴く】

現状：① 希望の会（本人ミーティング）…参考資料 7

場 所 呉市役所催令和 5 年度から

頻 度 毎月 1 回

参加者 3 名（付添 3 名）

② 認知症地域支援推進員が本人に聴き取り調査
動画を作成し普及啓発に活用

課題：① 認知症の人をケアする機会はあるが、生活支援の困りごとやサービスの組み立ては、本人ではなく介護者に意見を聴いて行っている場面が多い。

認知症の人ご本人の困りごとや希望を聴くことを忘れがち。

② 様々な施策を充実したが、本人の気持ちを重視した施策展開はできていない。

【今後に向けた検討事項】

本人の声を聴いた施策展開にするために

検討 1 委員それぞれの業務範囲内で、本人の思いに耳を傾ける取組を推進することはできないか。また、その思いを集約する方法はないか。

検討 2 令和 6 年度 第 3 回 認知症施策推進事業検討委員会に本人をオブザーバーで招き、意見を聴くことを企画してはどうか。